



投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込は

設定・運用は

UBS グローバル・アセット・マネジメント株式会社

商号：ユービーエス・グローバル・アセット・マネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第412号

加入協会：一般社団法人投資信託協会/  
一般社団法人日本投資顧問業協会

©UBS 2015. キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

グローバルCB

徹底ナビ!

低金利環境が続く一方で、物価上昇への備えも必要になってきています。資産運用への関心が高まる中、個人投資家の注目を集めているのが『グローバルCB』です。

Global CB

## 今日のトピック

TODAY'S TOPICS

- ① 物価上昇への備え
- ② CB(転換社債)で資産運用
- ③ CB(転換社債)の値動き
- ④ CB(転換社債)は全天候型
- ⑤ 「グローバルCB」で長期投資

## ① 物価上昇への備え

- ・ 物価が上昇していくとお金の実質的価値は下がります。
- ・ 低金利環境下、預金だけではお金の価値が減ってしまいます。
- ・ 保有資産の価値を守るために資産運用が重要です。



卵やパンなどの物価が上がると、お金の価値に影響があるのですか？



では、保有資産の価値を守るためにはどうすればよいのでしょうか？



同じモノを買うのに必要なお金が多くなるので、お金の価値は下がってしまいます。



資産運用をすることで、物価上昇率を上回る運用成果を目指します。

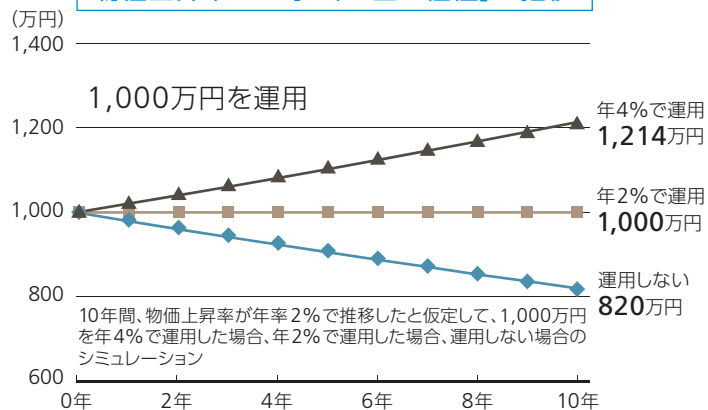
### 低金利環境と物価上昇時の「お金の価値」の推移

日本の10年国債利回りの推移



出所：ブルームバーグ、1990年1月末～2015年3月末

物価上昇率2%時の「お金の価値」の推移



上記のシミュレーションは運用に要する費用および税金は考慮しておりません。シミュレーションは仮定であって、運用成果を保証するものではありません。市場環境によっては損失を被ることもあります。詳しくは巻末の転換社債等の価格変動リスク等をご参照ください。



シミュレーションによると、運用をしない場合には10年後に18%も価値は目減りしてしまいますが、4%で運用できたと仮定した場合は21%も価値が増える結果となっています。

## 2 CB(転換社債)で資産運用

- CB(転換社債)とは、株式に転換できる債券です。
- CBは「債券としての特徴」と「株式としての特徴」をあわせ持っています。

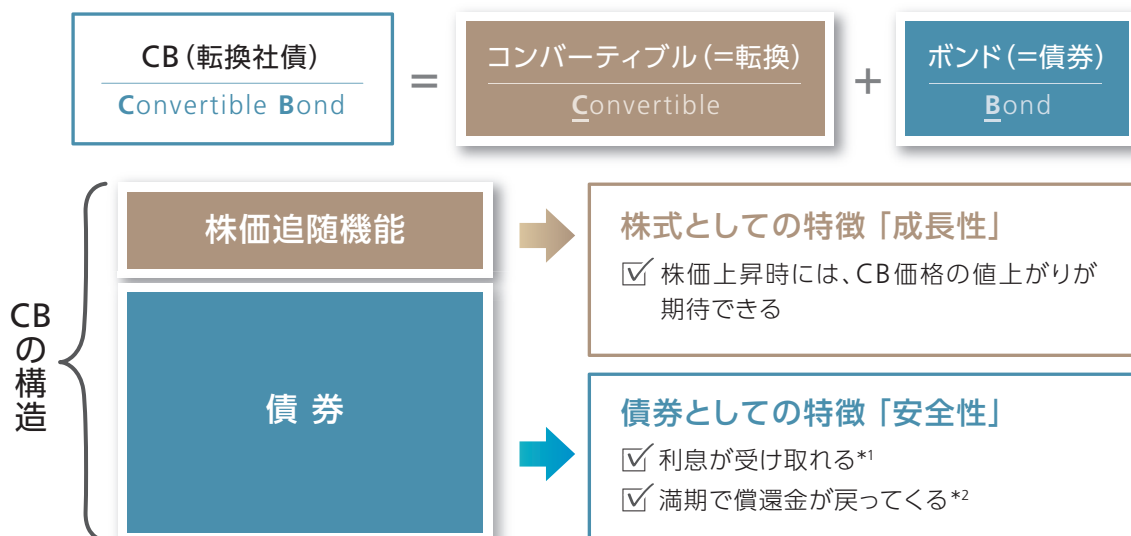
資産運用と言っても、  
債券だと利回りが低いし、  
株式だと大きな損が心配です。

CB(転換社債)を検討されては？  
CBは株式に転換できる債券です。

CBには、どんなメリットがあるのですか？

「債券の安全性」も「株式の成長性」も  
追求できるというメリットがあります。

### CBの構造のイメージ



\*1 利息(クーポン)がないCB等も存在します。

\*2 発行体が倒産した場合等、額面で償還されないことがあります。  
上記は例示をもって理解を深めていただくことを目的としたイメージ図です。

CBは債券に株価追随機能が  
追加されたような構造です。

### 3 CB(転換社債)の値動き

- ・ 株価上昇局面では、CB価格の値上がりが期待できます。
- ・ 株価下落局面では、債券としての価値が下支えして、CB価格の値下がりのリスクを抑えられる傾向があります。

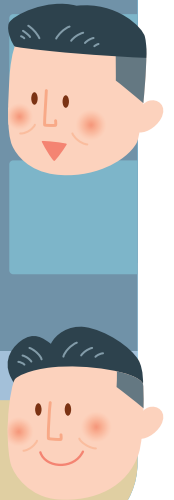


CBの値動きの特徴は?

好景気で株価が上がる局面では、  
値上がりが期待できます。

好景気の時ばかりではないですね。

不景気で株価が下がる局面では、  
債券価値により、値下がりが抑えられる  
傾向があります。



#### 景気サイクルとCBの値動きのイメージ

景気回復

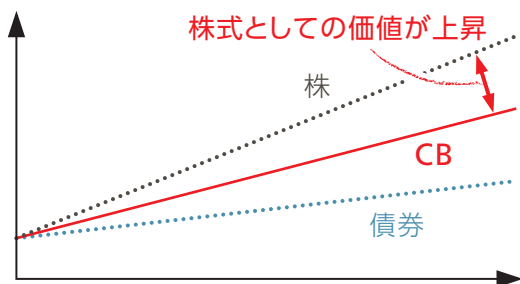
景気拡大

景気減速

景気後退

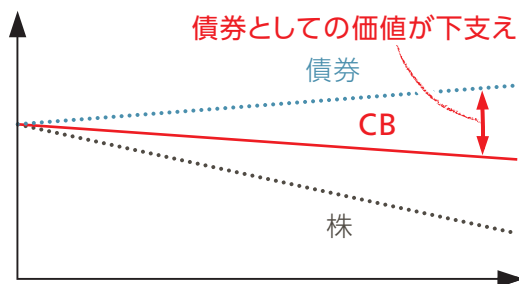
好景気

企業収益改善 → 株価上昇



不景気

企業収益悪化 → 株価下落



上記は例示をもって理解を深めていただくことを目的としたイメージ図であり、必ず上記のような動きになることを示唆、保証するものではありません。



「株高も狙いたい」けど「今後の下落にも  
備えたい」という欲張りな投資家に向いて  
いるかもしれません。

## 4 CB(転換社債)は全天候型

- CBの「債券としての特徴」と「株式としての特徴」は、市場環境によって、どちらか一方が強くなる傾向があります。
- CBは様々な市場環境に適した資産と考えられます。



CBの「株式としての特徴」が強くなるのは、どんな時ですか？

株価が「転換価格」を上回って上昇した時です。

なぜですか？

その場合、株式に転換する価値が増すため、CB価格の株価連動率が高まるからです。

### 転換価格とは？

CBから株式に転換する場合の価格で、CB発行時\*に予め決められています。

\*転換価格の調整・減額条項付のものもあり、必ずしも発行時の転換価格で転換されない場合もあります。

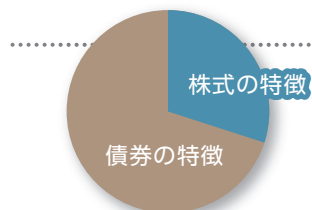
### 市場環境とCBの特徴の変化のイメージ

不景気

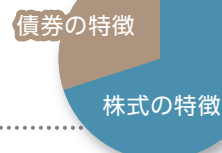
好景気



債券としての特徴が強くなり  
株価連動性が低くなる  
「下値抵抗力」



債券の特徴 株式の特徴



株式としての特徴が強くなり  
株価連動性が高くなる  
「値上がり期待」

株価上昇



転換価格



株価下落



上記は例示をもって理解を深めていただくことを目的としたイメージ図であり、必ず上記のような動きになることを示唆、保証するものではありません。

CBは不景気では「保守的」、  
好景気では「積極的」と言えます。

## 5 「グローバルCB」で長期投資

- ・「グローバルCB」の過去20年間のパフォーマンスは、先進国の株式や国債を上回る結果となっています。
- ・株価上昇局面における株価連動性と、株価下落局面における下値抵抗力が、長期的な好パフォーマンスにつながっています。

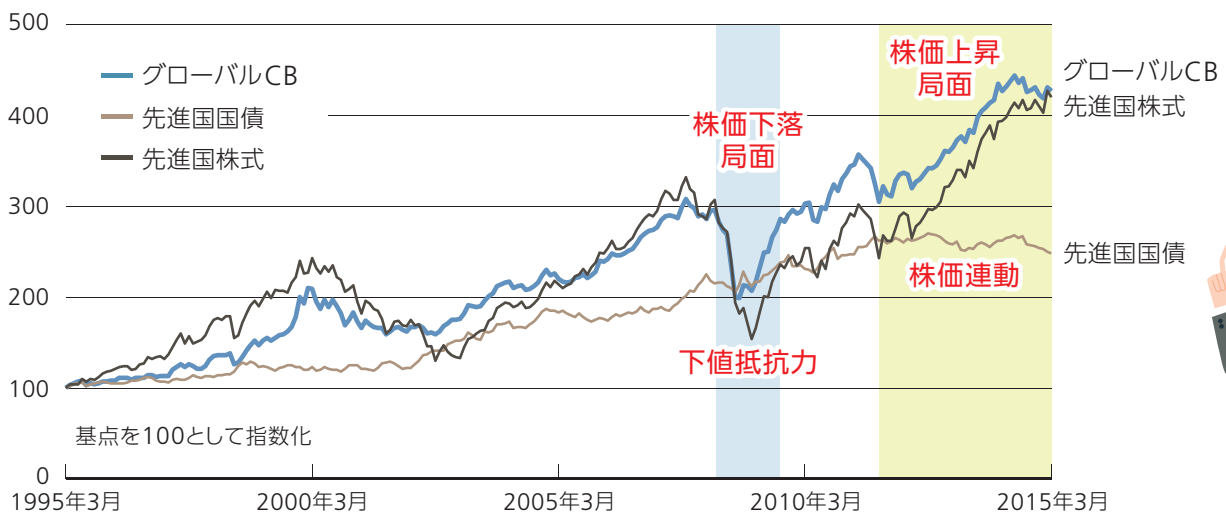
CBのおすすめの投資方法は？

世界のCBに分散する「グローバルCB」への投資がおすすめです。また、CBの特徴を活かすためにも「長期投資」がおすすめです。

どういう人に向けた資産なのでしょう？

あれこれ悩まずに長期で保有したいという人に向いていると思われます。

各資産の価格推移 (1995年3月末～2015年3月末、米ドルベース)



グローバルCB: トムソン・ロイター・グローバル・バニラ・CB・インデックス 先進国株式: MSCI ワールド・インデックス (配当込み)  
先進国国債: シティ世界国債インデックス 出所: ブルームバーグのデータを基にUBSグローバル・アセット・マネジメント作成  
上記のデータは過去のものであり、将来の動向を示唆、保証するものではありません。また、特定のファンドのパフォーマンスを表すものではありません。

投資期間が長いほど、CBのメリットが実感できるのではないかと思います。



## 当資料に関してご留意いただきたい事項

- 本資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、信頼できる情報をもとにUBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社によって作成されておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。本資料に記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、本資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 投資信託のリスクおよび費用は投資信託毎に異なりますので、ご投資される際には、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」を必ずご覧ください。なお、以下に記載するリスクおよび費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

### 投資信託のリスクについて

投資信託は株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資家の皆様の投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、元本を割り込むことがあります。投資信託のリスクは投資対象資産の種類、投資制限、取引市場、投資対象国等により異なります。また、投資信託は預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。

※詳しくは各投資信託の目論見書および契約締結前交付書面をご覧ください。

### 転換社債等の価格変動リスク

転換社債等の価格は、主に発行体の株価変動、金利変動および発行体の信用力の変化の影響を受けて変動します。組入れられた転換社債等の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となります。転換社債等の価格の変動幅は、償還までの残存期間、発行体の信用状況などに左右されます。

#### [ 株価変動リスク ]

転換社債等の価格は、株式市場の全体的な下落により低下することがあります。事前に決まっている転換社債等の転換価格が発行体の株式の時価に近いとき、または下回っているときに、転換社債等の時価は対象となる株式の価格変動に特に敏感に反応します。

#### [ 金利変動リスク ]

転換社債等の価格は、金利変動によっても変動します。一般的に転換社債等の価格は、金利が低下した場合には上昇する傾向があり、逆に金利が上昇した場合には下落する傾向があります。

#### [ 信用リスク ]

転換社債等の価格は、発行体の信用力の変化によっても変動します。転換社債等の発行体の業績悪化、財務内容の変化、経営不振等により、債務不履行が生じた場合、あるいはそのような状況が予想される局面となった場合には、転換社債等の価格は大きく下落することがあります。また、当ファンドでは信用格付けが投資適格未滿(BBB-未滿)の転換社債等への投資を行いますが、当該転換社債等は、信用度が高い転換社債等と比較して、高い利回りを享受することが期待できる一方で、債務不履行が生じる可能性が高いと考えられます。

### カントリー・リスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落することや、運用方針に沿った運用が困難となることがあります。

### 為替変動リスク

外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行いませんので、円と外貨建資産に係る通貨との為替変動の影響を受けることになり、円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となります。

### 投資信託の費用について

投資信託の購入時や保有期間中には以下の費用がかかります。

#### [ 直接ご負担いただく費用 ]

- ・購入時：購入時手数料 上限3.78% (税抜3.50%)
- ・換金時：信託財産留保額 上限0.7%

#### [ 保有期間中に間接的にご負担いただく費用 ]

- ・運用管理費用(信託報酬) 上限約2.4839%(税込)(ファンドオブファンズの投資先ファンドの概算値を含む)
- ・その他の費用(監査報酬、有価証券売買委託手数料、信託事務の諸費用等)をご負担いただきます。

※これらの費用の額および計算方法等は、投資信託毎に異なります。詳しくは各投資信託の目論見書および契約締結前交付書面等にてご確認ください。

費用の料率につきましては、UBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収する各費用における最高の料率を記載しております。購入のお申込にあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断くださいますようお願いいたします。